

たんぽぽ



No. 195 2025年(令和7年) 2月

発行 北部地域振興課

住所 〒720-1132

福山市駅家町倉光37-1

電話 (084) 976-9460

E-mail : hokubu- chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



多文化共生連続講座 第3講座

常金丸分村の 記憶をどう伝えるか

3.9 (日) 13:00 ~ 15:30

常金丸交流館

福山市新市町大字金丸4 1.4番地

- ・常金丸分村満州開拓団史を語り継ぐ
(常金丸・藤尾郷土研究会 石口 寛治さん)
- ・常金丸分村の記憶をどう伝えるか
(福山市立大学 牧田 幸文教授)
- ・フィールドワーク
満州分村常金丸開拓団追憶之碑めぐり

問合先：福山市 北部地域振興課 (084-976-9460)

本市では安心安全で暮らしやすい地域づくりを支援するため、行政・市民・企業等の多様な主体との連携事業に取り組んでいます。そこで、今年度の北部市民フェスティバルは、外国人市民も多く在住する北部エリアで多文化共生をテーマに地域の魅力を「知る・体験できる・感じる」交流事業を実施し、地域×企業×行政の連携を図りました。

■事業コンセプト■

多様性をテーマに誰もが交流しながら楽しめる

「食・体験・学ぶ・つなぐ」コンテンツ！で 北部を満喫しよう！！

■実施概要■

実施日：2025年（令和7年）1月25日（土）10：00～15：00

実施場所：加茂交流館及び加茂小学校グラウンド

主催：北部市民フェスティバル実行委員会（事務局：北部地域振興課）

参加者数：650人

天候にも恵まれ、屋外コーナー、展示、体験コーナーなどの分野でそれぞれの団体・企業・ボランティアの多くの力添えもあり、工夫を凝らした盛りだくさんの内容となり、多くの方にご参加いただき、盛会のうちに終わることができました。

■オープニング■◆野菊の会 アクティブ加茂支部「銭太鼓・傘踊り」

加茂交流館を拠点に活動されているサークル「野菊の会 アクティブ加茂支部」は、日舞・傘踊り・銭太鼓をとおして、施設や地域のイベントなど幅広く活動されています。一人でも多くの方々と笑顔の華がいっぱい咲きますように、つながりが深まることを願って、心を込めて踊っていただきました。



■ボランティア■

中学生34人、大学生2人、一般10人の多くのボランティアにご協力いただきました。



■屋外イベント■

◆模擬店（カツバーガー・パウンドケーキ・カレー・りんごあめ・山野っ粉だんご汁・キムチ入りうどん・キムチ入りお好み焼き ほか）

◆わたがしづくり体験◆ポップコーン◆企業出展によるベーゴマ遊び体験◆オカリナの絵付け



■屋内イベント(体験・工作) ■地域と企業をつなぐワークショップ

◆企業協力等による

ものづくりワークショップ・自販機ガチャCAN(北産業団地企業のアイテムGET!)

◆でんろんづくり◆ミニ加茂知っとする検定◆健康体操◆おもちゃびょういん◆行政相談PR

◆スタンプラリー



■屋内イベント(展示) ■

学ぶ・つなぐ・発信・展示コーナー

①加茂学区(加茂・広瀬・山野)をつなぐ魅力紹介(まち歩きマップの紹介やスポット紹介等)

※加茂・広瀬・山野が一体となり回遊や周遊を促すまちの探求マップで地域活性化

※加茂中学生が作成した地域紹介展示

②企業が取り組んでいるSDGsや企業紹介パネルの展示

③多言語ごみ分別等の紹介(行政相談員)

④北部14学区・地域協働のまちづくり事業報告

⑤網引学区まちづくり推進委員 取組紹介

⑥常金丸学区福祉を高める会 取組紹介

⑦交流館コミュニティセンター事業紹介



■消防車展示&なりきり消防士写真■(加茂小学校グラウンド)

福山地区消防組合深安消防署にご協力いただき、加茂小学校グラウンドで、消防車の展示となりきり消防士写真撮影を行いました。

会場は、フェスティバル臨時駐車場であり、車で来場された多くの方が立ち寄り、子どもたちも消防士の服を着て笑顔で写真撮影をしました。

重いものを動かす力を小さくすることができる器具を使用した「倍力体験」もありました。



生涯学習事業の費用の一部を補助します！

「福山市生涯学習活動費補助金」は、市内で活動している学習グループが、自主的に企画・実施する学習活動の経費の一部を補助することにより、生涯学習活動の活性化を図るものです。

- ・構成員数：5人以上の学習グループ
- ・補助金額：補助対象経費の2分の1以内で上限5万円
- ・対象事業：子育て、福祉、芸術、生涯スポーツなどの生涯学習活動で、**学習成果が広く社会へ還元される活動** ※審査があります。

- 申請書受付期間 3月3日（月）～4月15日（火）
- 申請の手引き・様式の配布

【データ】3月1日（土）～ HPに掲載

【書類】3月3日（月）～ 市役所9Fまちづくり推進課・各地域振興課で配布

詳しくはHPでご確認ください。★過去の交付団体の活動紹介も掲載しています。

⇒[福山市生涯学習活動費補助金](#)で検索



【問合せ先】福山市役所まちづくり推進部 まちづくり推進課

TEL(084)928-1243 FAX(084)928-1229



春の火災予防運動実施中（3月1日～3月7日）

福山地区消防組合からのお知らせ



2024年中に福山地区消防組合管内で92件の火災が発生しました。

スマートフォンやモバイルバッテリーなどに広く使われているリチウムイオン電池の出火件数が増えています。2024年中に管内で9件発生しています。

次の4つのポイントに注意して、同様の火災を未然に防ぎましょう。

① 製品本体に強い衝撃を与えない。

② 高温になる場所に置かない。

③ 定められた方法に従って充電するなど、取扱説明書に記載されている適切な方法で使用する。

④ 処分する際は、地域のごみ回収方法をよく確認する。



携帯・スマホ



モバイルバッテリー



おもちゃ



電気シェーバー・電動歯ブラシ



ハンディファン

<お問い合わせ> 福山地区消防組合消防局予防課 TEL：084-928-1192

わたぼうし

1922年3月3日、全国水平社創立大会が開催され、日本最初の人権宣言と言われる「水平社宣言」が採択されました。この時代は、封建時代から近代市民社会に移行する時期であり、大正デモクラシーや米騒動などが国内で起こった時期です。人々が権利にめざめ、獲得に向けて行動を起こした特徴的な時代です。部落問題においても、被差別当事者が自ら立ち上がり、自身の立場を認識し、その差別を克服していくための行動を起こした時代です。

そうした人々の努力が、現代にもつながっています。たとえば近年制定された人権三法であるいわゆる「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」などは、人権の大切さと差別が社会悪であることを法律で明確に規定しています。

いつの時代も市民の取り組みによって歴史がつくられていることについて思いをよせてみませんか。

たんぼぼ195号をそのまま読むことが困難な方のために、営利目的を除き録音・拡大写本などを行うことを認めます。

